

### 1. 背景



A様 90代 女性 認知症

#### 課題

認知症の進行により、自宅との環境の変化から不安・混乱・帰宅願望がみられる方がいる



利用者様にとって職員の声掛けが違う事でショートステイが安心できる居場所になれていない

#### 事例

・居室で、過ごしていると「鍵を閉めとかな」「ご飯炊いたかな」「息子帰ってくるのかな」と不安が募り、混乱する

・日中・夜間共に「そろそろ帰ろうかな」と言われ、落ち着かなくなる

**A様にとってショートステイが安心の居場所になれるように、改めて「A様を知る」ところから取り組んだ！！**



### 2. 取り組み

#### 24時間シート

どの時間帯にどんな言動があるのかを調べた

##### 時間帯

就寝時に多い！！

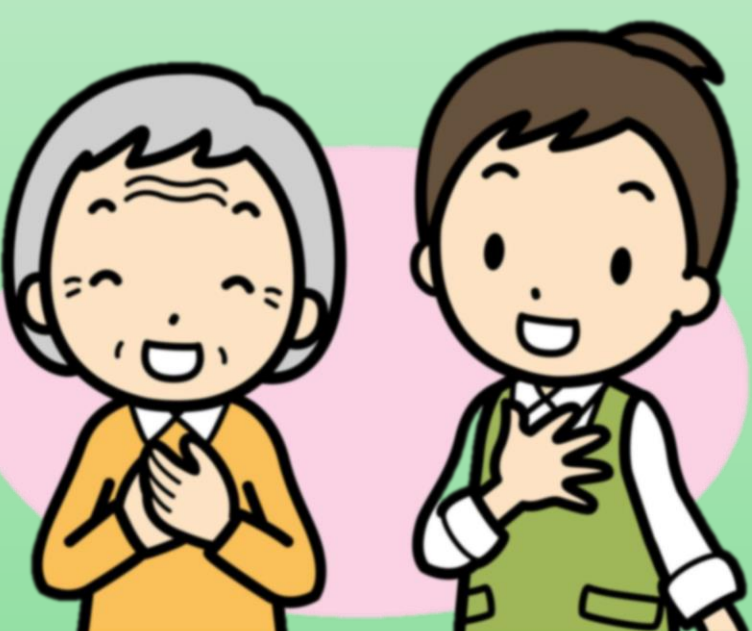


##### A様が気になる事

- ◆戸締りが気になる
- ◆ご飯の用意をしないとイケない

##### 職員が行った事

A様の想いを尊重して寄り添う時間を作った



#### ひもときシート

A様の言動にどんな理由や目的があるのか探る

##### A様の言葉

戸締りしたかな？

ご飯しないとイケない

私ここに、居ていいのかな？

息子はどこにいるのかな？

##### 何が原因と考えられるか？

自宅の戸締りが心配！

A様の家族の食事が心配！

A様の話を聞いてくれる人がいない！

A様の知っている人がいない！



#### 自分史

本人様の大切にしている趣味・習慣・生活歴を情報収集

自分史を作成した理由は、動画で♪

##### ☆A様から聞いたお話

旧姓は、〇〇だよ！

昔から戸締りは、しっかりしていたよ！

生まれ故郷は、〇〇だよ！懐かしいね！



##### ☆息子様から聞いたA様の昔のご様子

料理は、沢山作ってくれました

昔から戸締りは、気にしていましたね



##### ☆自分史で情報収集してわかった事



家族様も知らなかった昔住んでいた地域の寺や女学校の写真を見ながら、A様から思い出話を聞く事が出来た

### 3. 結果

- ・A様の不安を理解し安心して過ごして頂ける環境・声かけをする事で混乱が少なくなった
- ・職員との関わりが増えた事により、A様に笑顔が増えた
- ・施設生活で課題になる事が、過去を知る事で理由がわかり、職員がA様がどんな事で悩んでいるか、寄り添ってお話を聞く機会が増えた
- ・特養入所になった際、正確に情報を伝える事で、本人様が混乱する事が少なかった

### 4. まとめ

取り組みを行った結果、職員によって関わり方が違う事により、利用者様が混乱される事を知り、**利用者様の気持ち・言葉の背景にある目的や想いを理解しようとするようになった！！**ショートステイ延寿では、その人にあった関わりを模索しながら利用者様に寄り添う中で、当法人の介護理念である「あなたらしさをいつまでも」を目指して、利用者様が安心して過ごす事が出来る居場所になれるように努めます！！